

「ソフトウェア辞書」とは・・・？

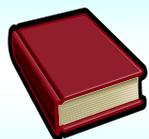
2015年02月

◎株式会社 日立システムズ

ソフトウェア辞書の種類

ソフトウェア辞書には、一般に大きく3つの種類があります。

「仕分け」、「名寄せ」、「約款」です。各種使用方法は以下の通りです。



ソフトウェア名寄せ辞書

インベントリ情報から、ソフトウェアを特定するソフトウェア辞書。

レジストリ情報やexe情報からsuite製品などを判断するために使用。



ソフトウェア仕分け辞書

インベントリ情報から、「有償」「無償」「フリー」等を判断／仕分けを行う辞書。

管理対象ソフトウェアの判断基準に使用。



ソフトウェア約款辞書

製品毎の使用許諾契約に記載されている情報が登録された辞書。

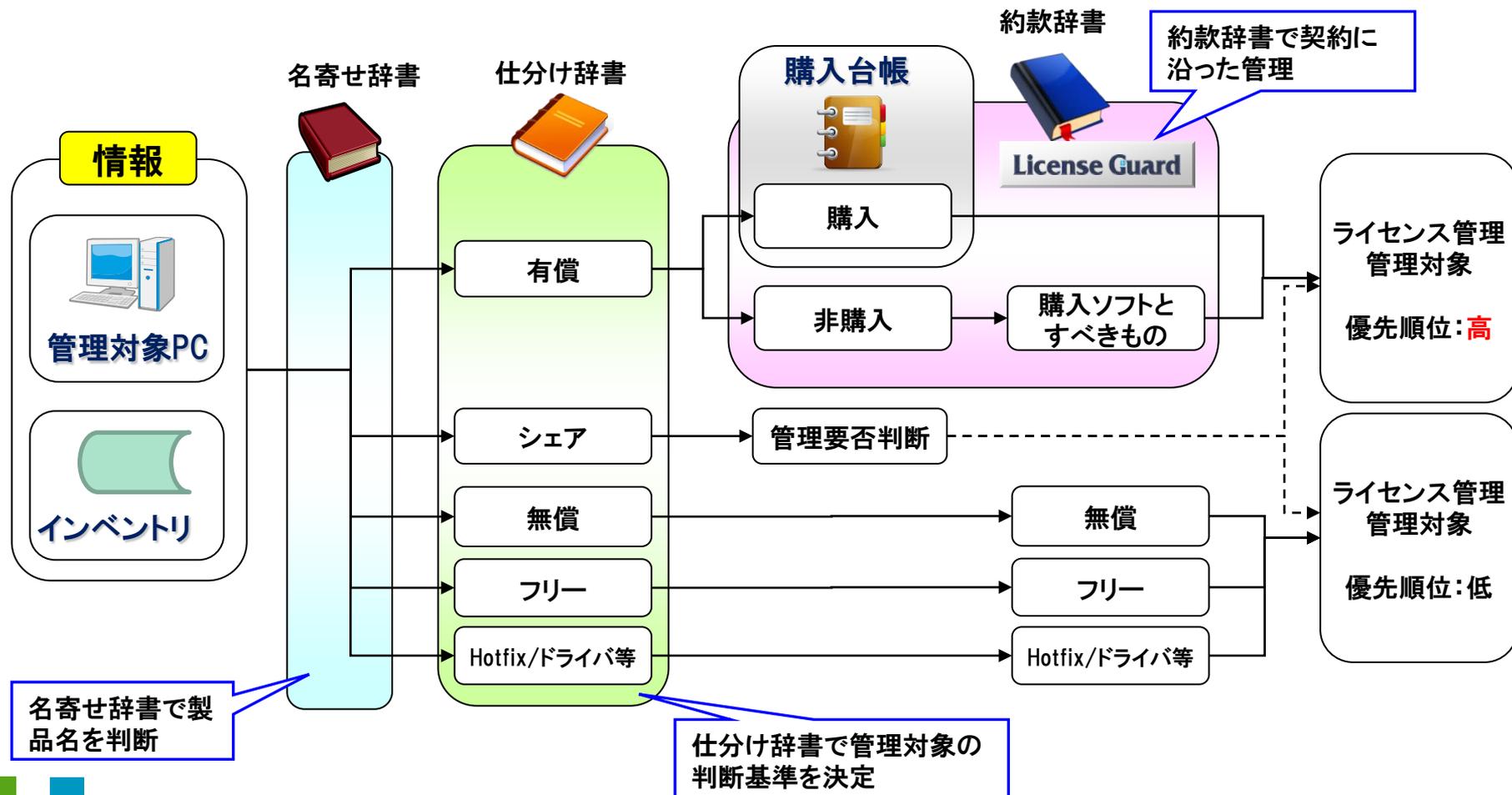
契約に合わせてアップグレード先と元、セカンドライセンスなどの契約紐付に使用。

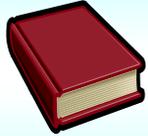
ソフトウェア辞書の適用場面

ソフトウェア辞書は、「管理対象のガイドライン」となるツールです。

インベントリ情報や購入台帳から、ソフトウェア辞書を介して管理対象を判断できます。

ライセンス管理の運用の中では、以下の図のようになることが想定されます。



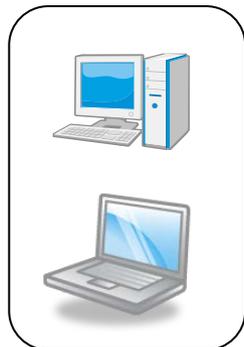


ソフトウェア名寄せ辞書

インベントリ情報から、ソフトウェアを特定するソフトウェア辞書。

レジストリ情報やexe情報からsuite製品などを判断するために使用。

使用イメージ



管理対象PC



インベントリ	
EXE情報	
Excel.exe	
Outlook.exe	
Powerpoint.exe	
WINWORD.EXE	
Acrobat.exe	
レジストリ情報	
SQL Server 2005	



名寄せ辞書

名寄せ辞書を通すことで特定

製品名
Microsoft office 2003 standard
Adobe Acrobat x
Microsoft SQL Server 2005

License Guardの名寄せ辞書 特徴

課題

ソフトウェア購入時

Adobe Creative Suite購入

- ・InDesign
- ・Photoshop
- ・illustrator
- ・Acrobat etc

登録

棚卸し時

購入台帳



棚卸し

インストール

PCへソフトウェア
をインストール

プログラムの追加と削除

- Adobe InDesign
- Adobe Photoshop
- Adobe illstrator
- Adobe Acrobat

レジストリでは判断不可

Suite製品で購入？



単体製品で購入？



解決

名寄せ辞書使用

License Guardの名寄せ辞書では、レジストリ情報(プログラムの追加と削除 など)だけでなく、「.exe」を集めることで判断！！

レジストリ情報

- Adobe InDesign
- Adobe Photoshop
- Adobe illstrator
- Adobe Acrobat

Exeファイル情報

- Adobe InDesign.exe
- Adobe Photoshop.exe
- Adobe illstrator.exe
- Adobe Acrobat.exe

名寄せ辞書

Adobe Creative Suiteを判断

- Adobe InDesign.exe
- Adobe Photoshop.exe
- Adobe illstrator.exe
- Adobe Acrobat.exe

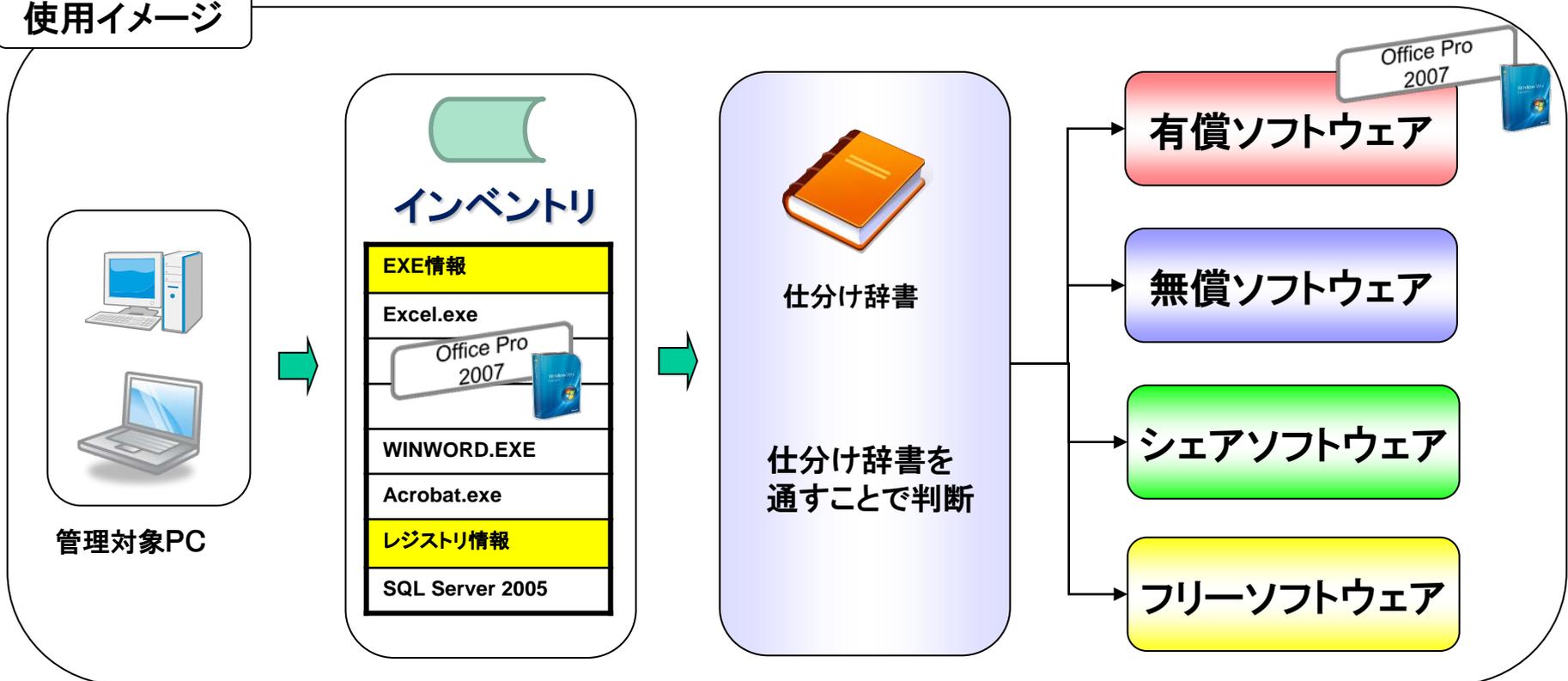


ソフトウェア仕分け辞書

インベントリ情報から、「有償」「無償」「フリー」等を判断／仕分けを行う辞書。

管理対象ソフトウェアの判断基準に使用。

使用イメージ



ソフトウェア辞書 使用イメージ(約款辞書)

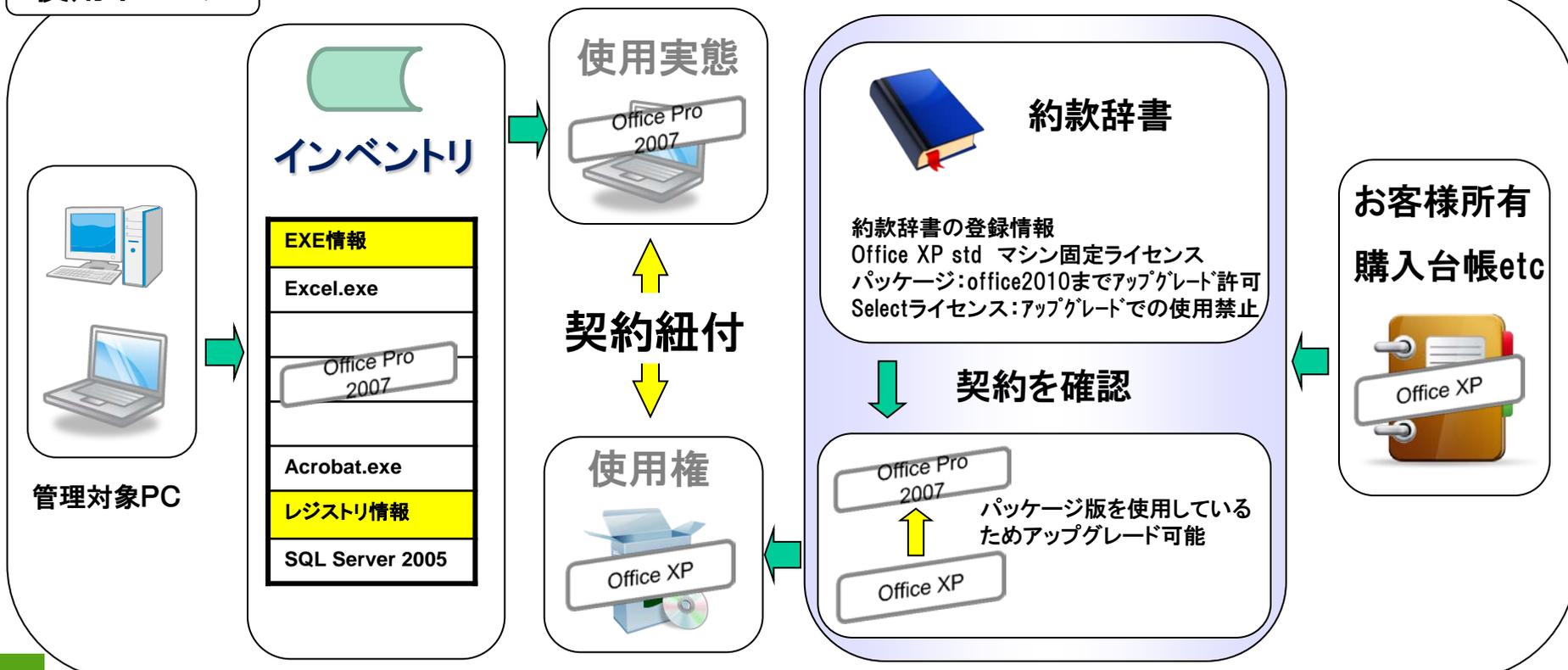
ソフトウェア約款辞書



製品毎の使用許諾契約に記載されている情報が登録された辞書。

契約に合わせアップグレード先と元、セカンドライセンスなどの契約紐付に使用。

使用イメージ



(比較)他社ツールのライセンス管理方法

課題

- ・使用許諾契約の内容を理解することが**難しい!!**
- ・ベンダーに問い合わせなどが発生し、**工数が増えてしまった!!**
- ・どのバージョンまで、アップグレード権を適用できるのか、**分からない!!**

他社IT資産管理ツール

約款が難しく、解読できない
まま、**誤った情報を入力**



購入情報を台帳へ登録

購入製品を台帳へ記入



契約情報を登録

【製品】
Office XP std パッケージ版

【ライセンス種別】

ライセンス種別
マシン固定(ボリューム)
マシン固定(パッケージ)
マシン固定(プレインストール)
ユーザ固定ライセンス
サーバライセンス
デバイスCAL
ユーザCAL
同時アクセスライセンス

【購入方法:パッケージ】

ライセンス形態
正規
アップグレードライセンス
ダウングレード(使用権)
セカンドライセンス
重複インストール

PCへのライセンス割当

誤ったライセンス割当方法にて紐付



誤ったライセンス割当方法
により、**正確な過不足数が
把握できない。**

(比較)License Guardのライセンス管理方法

解決

- ・使用許諾契約の内容が**明確化**！！
- ・ベンダー問合せ**工数も削減**！！
- ・どこまでアップグレードが許可がされているのか**分かる**！！

License Guard

複雑なライセンス形態も、**約款辞書**を用いることで**明確に**！！



約款辞書 あり

約款辞書が
様々なライセンス形態を
ナビゲート！！



【製品】
Office XP std パッケージ版

【ライセンス種別】
・マシン固定ライセンス

【ライセンス形態：パッケージの場合】
・アップグレード権あり
office2010まで可能。
・ダウングレード権あり
office2000 enterprizeまで可能
・セカンドライセンスあり。

アップグレード元と先を紐付
管理が可能。正確な過不足
数の把握が実現！！

PCへのライセンス割当

契約に沿ったライセンス割当



アップグレード権を使用



購入情報を台帳へ登録

購入製品を台帳へ記入



License Guardとソフトウェア辞書対応状況

「License Guard」はソフトウェア製品の使用許諾契約や販売形態をマスタ化し、管理することができます。
 主なIT資産管理ツールのソフトウェア辞書対応状況は以下のとおりです。

License GuardとIT資産管理ツールを連携することにより、IT資産管理を強化することができます。

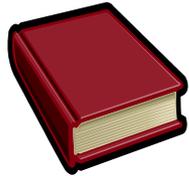


※1:ソフトウェア仕分け辞書は、主に【一般社団法人 ソフトウェア資産管理評価認定協会(SAMAC)】から提供されている辞書を使用 or 独自の情報を付加し提供しているベンダーが多い。SAMACより提供されているソフトウェア辞書は、一部名寄せ機能もある。

※2:License Guardの専用Agent。クライアント常駐型で、レジストリ情報、exeファイル情報の収集が可能。

※3:他社ツール or 既存ツール併用の場合、連携方法は4つ。

- ①CSV連携
- ②XML連携(オプション)
- ③特定製品(クオリティ社 QAW)とのデータ密連携
- ④Microsoft社 SCCM2012連携(オプション)



●約款辞書

- ソフトウェアは、販売形態や付帯契約等の組み合わせで、**多種多様で複雑なライセンス体系**となっています。
- 使用許諾条件が登録された約款辞書の利用により、複雑なライセンス体系のライセンス契約の内容に精通していない方でも、**ソフトウェア辞書から購入製品を選択するだけ**でライセンス形態が分かるので、管理レベルを均一化できます。

▶基本となるライセンス

デスクトップ型	マシン固定ライセンス
	ユーザ固定ライセンス
	選択型のライセンス (マシンorユーザ固定)
C/S型	プロセッサライセンス
	サーバライセンス
	クライアントライセンス
その他	監視対象マシン数
	サイトライセンス

▶付帯契約

ダウングレード
アップグレード
セカンドライセンス
使用期限契約
バージョンアップ契約

▶販売形態

パッケージ
プレインストール
ボリュームライセンス



License Guard約款辞書を用いた工数比較

- 管理工数算出条件(1年あたり工数)
 - 運用フェーズごとの工数算出根拠
 - 調達時:全保有数の20%を購入
 - 約款辞書なし:1ソフトあたり**90**分(約款の調査と入力)
 - 約款辞書**あり**:1ソフトあたり**10**分(入力のみ)
 - 異動:全保有数の10%を変更/1ソフトあたり10分
 - 監査(ライセンス過不足数の修正作業)
 - 約款辞書なし:全保有数の20%を修正/1ソフトあたり90分(約款の調査と修正)
 - 約款辞書あり:なし
 - 廃棄:※ソフト廃棄するケースは少ないものと見なし省略
 - 保有ライセンス数:1,000件
- ライセンス管理工数の比較(1年あたり工数)

	調達	異動	監査	合計(人月)
約款辞書がない場合	1.9人月	0.2人月	1.9人月	4人月
約款辞書がある場合	0.2人月	0.2人月	0人月	0.4人月



Human * IT

人とITの手カラで、驚きと感動のサービスを。

 株式会社 日立システムズ